

市長賞

堺市立 東陶器小学校 六年

西 口 心

犯罪・非行から考えること

最近、テレビやネットニュースの中で、銀行やお店に強盗に入ったという事件が起きていることを知りました。いわゆる闇バイトと呼ばれるものだそうで、SNSで知りあった人同士がお金や報酬目的でつながり、罪を犯すのだそうです。私はまだ小学生だけれど、普通のバイトと聞くと、ファーストフードなどのお店で働くと時給千円ぐらいなのかなあと想像しますが、それ以上に高いお金がもらえるバイトと聞くと、(怪しそう、本当かな)と思います。このようなバイトで罪を犯してしまう人たちは、どんな気持ちで応募してしまうのかを考えてみました。

罪を犯さないために大切なのは「判断力」だと思います。なぜなら、お金の目がくらんだり、甘い言葉にだまされたりしたとき、いつでも正しいことかどうか判断する力が必要だと思ったからです。

このような人たちは、なぜその判断が正しくできないのでしょうか？そこには大きな社会問題があることに気が付きました。

それは「貧困」です。お仕事がなく、日々の生活に困って犯罪

に手を染めてしまうケースがあることを知りました。身近な人が病気になったり介護が必要になったりして、大金が必要になり、お金を求めて犯罪に手を染めてしまうこともあるそうです。また、親の世代の貧困により、子どもがまきこまれ、犯罪に手を染めるそんなケースも多いようです。私自身は今現在、不自由なく暮らしていると思っていますが、身近な人が病気になったりケガをしたりして生活が不自由になってしまふことを考えると、誰が犯罪に手を染めてしまってもおかしくない、犯罪は他人事ではなくて身近なところにあるものだと思います。

私は身近な犯罪に自分自身がおちいらないために普段の生活の中で、先に挙げた「判断力」をしっかりと持ちたいと思っています。学校生活の中で友だちと関わっているとどうしても意見が合わなくて、トラブルやケンカになることもあるかもしれません。そんなとき私自身が心がけていることが二つあります。

一つ目は「相手の考えや思いがわからないときは決めつけない」ということです。どういう状況か分かっていないのに自分だ

けの思いで「悪い」と判断せず、どのような状況だったのか、どういう意図だったのかをしっかりと聞いてみると、全然悪くなかったり、自分の勝手な思い込みだったりした場合もありました。自分の価値観だけで判断して自分の思っていることだけを言わないよう、相手の考えや思いをしっかりと聞いて誤解しないように気を付けています。

二つ目は「自分がされて嫌なこと、言われて嫌なことはしない」ということです。当たり前のことかもしれませんが、いつでも意識していないと、相手の立場など考えず、自分の思いどおりにぶつけてしまうこともあるかもしれません。相手がどう受け取るか、どんな気持ちになるかも含めて、自分の言葉や態度、行動にしっかりと責任をもてるそんな自分でいたいと思っています。

このようなことから犯罪や非行のない地域社会をつくるには一人一人が正しく判断することの大切さを知り、人との関わり方に関わり方など、一人一人の意識が必要だと思いました。さらに、犯罪・非行をしてしまった人が立ち直るには過去をふり返り、ダメな行動をしてしまったことを反省し、心を新しく切り替え、正しく判断する「判断力」の大切さを考えることだと思いました。

今回改めて身の回りの犯罪のことを考え、普段の生活から人との関わり方や正しく判断することの大切さに気づくことができました。あと半年もすれば中学生になる自分ですが、人間関係も広

がり、関わり方にも目を向けなければならぬと思います。そんなときでもいつでも決めつけない、自分がされて嫌なこと・言われて嫌なことをしないなど、正しく判断し行動できるような気持ちをもち続けたいと思います。

